

2017年1月1日 No. 135

全国一般労働組合全国協議会

編集発行人 渡辺 啓二

東京都港区芝2-8-13 KITAハイム芝3F

TEL03-6779-8382 FAX03-6453-7857

URL: <http://www.nugw.jp>E-mail: nugw@nugw.jp

全国一般全国協



新年おめでとーございます

新しい年を迎えた昨年末、ドイツのクリスマステロ事件など激動の2016年を象徴する事件が全世界で起こりました。世界に拡大する格差と貧困は、中東アジアを典型として国家の崩壊、内戦・戦争の拡大を呼び、難民問題など深刻な対立を生んでいます。

英国のEU離脱に始まり、トランプ大統領の登場まで世界の新たな秩序をめぐる激動が続きます。アベノミクス破綻など全世界で国家財政危機を招いているように、カネがカネを生む新自由主義の行き詰まりの結果です。

安倍政権の「働き方改革」を許さない！

私たち労働者の生活・権利は、ますます厳しい状況に置かれています。しかし、実質賃金の下落、長時間労働の蔓延、不安定雇用労働者の拡大など深刻な事態にもかかわらず、一部大企業労働者の権益擁護を優先する日本の労働組合運動は社会的影響力を失い、中小零細企業の労働者の雇用と労働条件も、非正規労働者に限りなく接近するほどに悪化して新たな低賃金労働者

群を生み出しています。こうした不満と不安が、労働者間の分断・差別を生みつつあります。安倍政権が打ち出した「働き方改革」は同一賃金・同一労働、非正規労働者をなくすなど口当たりのよい掛け声で、労働者の不満を逃れようとするものです。その具体策は抽象的なものにとどまり、雇用の不安定化、長時間労働の放置など貧困格差を拡大する結果につながるもの

貧困・格差・差別を許さず、官民連帯で17春闘に勝利しよう!!

全国一般労働組合全国協議会 中央執行委員長 平賀雄次郎

です。

一方で、年金改悪などで労働者生活を圧迫し女性労働者の参入拡大、低賃金・悪条件の外国人労働者の新たな導入など格差・分断の下で労働力総動員が目論ま

ストライキを背景に17春闘勝利を！

当面する17春闘勝利に向けて、最低賃金引き上げとともに大幅な賃金引上げ、労働時間規制・時間短縮の実現、非正規労働者の雇用保障など職場・地域での活動を強化しましょう。労働時間規制を無視する高度プ

ロフェッショナル制度、裁量労働の拡大に反対し、解雇金銭解決自由化など労働法制改悪反対に取り組み、社会的規制を実現しましょう。

戦争法廃案に向け南スーダンからの撤兵を求め、辺野古・高江など沖縄の軍事基地強化拡大に反対しまし

う。なし崩しの原発再稼働に反対し脱原発社会を実現しましょう。

本年初頭といわれる総選挙に向けた取り組みが重要です。安倍政権打倒に向けた野党共闘を軸に衆議院選、地方選に勝利しましょう。

<スケジュール>

- 1/13(金) 全労協17旗開き
@新橋交通ビル 18:30~
- 1/28(土) 全国協・各県代表者会議
@渋谷勤労福祉会館 12:30~
- 2/25(土) 13:00~26(日) 12:00
西日本春闘討論集会
@広島市文化交流会館
- 2/17(金) 経団連抗議行動
@大手町 12:10~
- 3/13(月)~19(日) 福島連帯キャラバン
(平和フォーラム主催)

12/1~

事務所が移転しました

港区芝2-8-13
KITAハイム芝3F
TEL 03-6779-8382
FAX 03-6453-7857

新しい1年を、思いを共にする全国の仲間とともに中小・非正規の現場から闘いぬく決意です。力を合わせて闘いましょう。

実現を目指す決意です。

新しい1年を、思いを共にする全国の仲間とともに中小・非正規の現場から闘いぬく決意です。力を合わせて闘いましょう。

全国一般全国協は、1月28日、17春闘各県代表者会議を開催し春闘方針を確立して闘いをスタートさせます。3月初旬の要求提出、4月上旬の統一行動を軸にストライキを背景して要求

安倍政権打倒に向け大衆運動の高揚を!!

全国労働組合連絡協議会

議長 金澤 壽



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃の奮闘に敬意を表します。さて、「企業業績の改善と賃上げが、設備投資につながり、消費が拡大」するといったアベノミ

「バベルの塔」は私たちに何を問いかける?

フォーラム平和・人権・環境

共同代表 藤本 泰成



16世紀のネーデルランド(オランダ)で活躍したブリュッゲルの細密画「バベルの塔」が、今年4月18日から24年ぶりに東京都美術館にやってきました。「バベルの塔」はご存じの旧約聖書の冒頭「創世記」の中の

対する民衆の不満や怒りが爆発し変化を求めて立ち上がったっています。

日本においては格差と貧困が指摘されるなか、労働者の不満や怒りのエネルギーがなかなか政治へ向かわず、安倍内閣の支持率が高止まりとなっています。

こうした政治にわれわれ全労協は、安倍政権打倒に向けた大衆運動の大きな高揚をつくり出していく決意です。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

語です。日本政府も、いまや傲慢な世界にあって、勝手な政策を押しつけています。1兆円超をかけた高速増殖炉「もんじゅ」を廃炉にしながら、つぎの高速炉計画を提起しています。脱原発の方針はありません。人間の手に余るプルトリウムを利用する高速炉は、神の世界とも思われます。ブリュッゲルの「バベルの塔」は、私たちに何を問いかけているのでしょうか。その小さな世界には多くの寓話を描かれています。是非見に行きたいと思います。

本年こそ労働組合のあり方を問う年に!!

中小労組政策ネットワーク

共同代表 中村 宗一



JR北海道は昨年11月の記者会見で、13区間が維持困難になった事を公表しました。この区間には北海道の主要都市間輸送を担う路線の殆どが含まれ、全てが廃止や地元負担になるとすれば北海道の社会経済に与える影響は深刻であり、実

質的な「破産宣言」と受け止めざるを得ません。国鉄時代の内部互助体制が分割民営化で崩壊する節目の30年、闘ってきた国労をはじめ、その対応がとれる年です。また、電通で働いていた24歳の女性労働者の自死での労災認定、かつての総評時代には、起こり得たのでしょうか? 36協定闘争があった頃には考えられないことだったと思います。

2017年こそ労働組合のあり方を問う年にしたいと考えます。中小労組政策ネットワークでは、17春闘・国労全国キャラバンと連動した2・17東京総行動の実行、戦争法・沖縄辺野古新基地・高江ヘリパッド建設反対、労働法改悪・原発再稼働反対等を掲げ行動を提起していきます。

安倍の美辞麗句に振り回されず、17春闘を闘おう!!

全日本港湾労働組合

中央執行委員長 松本 耕三



ひたすら大企業優遇政策を進める安倍政権は、年金切り下げ、老人医療費の引き上げ、介護保険の負担増など福祉制度の改悪など勤労者に犠牲のしわ寄せをしています。加えて残業ゼロ

法、解雇の金銭和解の制度化など労働法制の改悪を進めようとしています。一方で、「同一労働同一賃金」「非正規ゼロ」など、あからさまな選挙対策のための美辞麗句を振り回しています。まさに、労働組合は舐められています。30年前、40年前政府がこんな政策を出したならそれこそ、チャンスとばかりに、賃金

をとるために全国の労働組合でストライキが多発したはずです。政府でさえ「同一労働同一賃金」「非正規ゼロ」「中小企業の賃上げ」を推進しようとしているのですから、労働組合がしっかりとたたかうのは当然です。だからこそ、17春闘は、最低賃金引き上げ、ベースアップをとりに行く春闘としてたたかうとともに、同一労働同一賃金、中小未組織、非正規労働者の賃金引き上げのたたかたかきましょう。

労働運動の反撃を強めよう!!

全日本建設運輸連帯労働組合

中央執行委員長 菊池 進



英のEU脱退、トランプ
当選、パク・クネ大統領の
辞意表明など、世界が大揺
れに揺れています。四半世
紀以上にわたり猛威をふるっ
た新自由主義グローバリズ

ム。の破たんにほかになりませ
ん。
社会をより豊かにすると
標榜したグローバリズムは、
金融ゲームと戦争で巨大資
本と大金持ちをいっそう豊
かにしました。しかし、そ
の対極に、空爆とテロの際
限ない憎悪の連鎖が途方も
ない数と規模の難民を生み
出し、アメリカの足下にお

いても明日の见えない貧困
層を拡大してきたのです。
おごり高ぶる安倍内閣の
終わりののはじまりの兆候も
見えてきました。「働き方
改革」と称して長時間労働
規制や同一労働同一賃金を
打ち出したのは、雇用の非
正規化と社会保障切り捨て
の結果、そういわざるをえ
ないほど社会の貧困と労働
力不足が深刻になっている
からです。これを労働運動
前進のチャンスととらえて
反撃を強めていきましょう。

裁判結審 座り込み行動貫徹!

東京東部労組メトロコマース支部

東京メトロ駅売店の非正
規労働者らでつくる全国一
般東京東部労組メトロコマ



ス支部が正社員との賃金差
別をなくすために起こした
裁判の第17回口頭弁論が12
月15日午後1時に東京地裁で開
かれ、4人の原告組合員が
最後の意見陳述を行い、裁
判は結審になった。判決は
2017年3月23日(木)午
後1時10分、東京地裁70
9号法廷で言い渡されるこ
とが決まった。

この日の裁判に先がけて
メトロコマース支部は裁判
所前で宣伝行動と連続座り
込みを決行した。12月12

15日には午前8時半から午
後5時過ぎまで裁判所正門
前で座り込んだ。寒風吹き
すさび、3日目には冷たい
雨が降り、支部組合員の中
からも体調を崩す人が相次
ぎましたが、延べ300人
を超える支援者とともに座
り込みを貫徹した。

よってたかっつての支援
本当にありがとうございま
した。これから支部は判決
日に向けて「裁判所は非正
規差別を許さない公正な判
決を出せ!」の声をいっそ
う上げて世論を高める運動
に力を尽くす決意です。

介護の切り捨てアカン! 12・5 厚労省交渉



12月5日、大阪を中心に
介護関係の労働組合・介護
事業者で運営する「安心で
きる介護を!懇談会」は、
介護の切り捨て反対と介護
職員の処遇改善を求めて、

厚労省行動(記者会見、厚
労省前アクション、厚労省
交渉)を行った。当日、全
国協や介護・介助関係の仲
間が参加し20名が集まった。
厚労省交渉では13、71
3筆(12月2日現在)署名
を提出し、現場から怒りの
声が沸き起こった。

国は「介護離職ゼロ」の
スローガンを掲げながら、
その裏では、介護の切り捨
てや介護報酬の大幅引下げ
を行い、中小介護事業所は
過去最大の勢いで倒産して
いる。今でも、ギリギリな
介護現場はさらに労働環境
が悪くなっている。介護を
利用する側は、介護を受け
られないことで、身体为重
度化が進んでいる。このま
までは介護する家族も仕事
を辞めざるを得ない。

沖縄高江・辺野古の新基地 工事強行を許すな!



12・10東京集会デモ

12月10日、「最高裁は沖
縄の民意に應える判決を!
高江オスプレイパッド、辺
野古新基地建設を許さない
12・10東京集会」が日比谷
野音で開催され3900人

韓国サンケン労組の来日 遠征闘争に連帯しよう!

11月17日「韓国サンケン
労組を支援する会」が、遠
征闘争団16人はじめ140
人が集まり結成された。断
髪、遠征団代表は「韓国の
民主主義の大きなうねりが
勝利し、私たちも必ず工場
に戻る!」と決意表明した。



11/17結成集会 @文京区民センター

が結集した。全国37カ所で
同時開催されたが、最高裁
は、12月20日翁長知事の埋
立許可取消を違法とする不
う!

ズユニオン

当な政治判決を出した。翁

長知事はあらゆる手段を使っ
て阻止すると表明、ともに
弾圧に屈せず連帯して闘お
う!

ユナイテッド航空を提訴!

東京労組全労F Aユナイテッド分会

不当解雇されてからすでに7か月が経とうとしていきます。沢山の団体署名、個人署名が全国から届き、当該一同感謝の気持ちでいっぱいです。

11月14日に4月に提訴したコンチネンタル・マイクロネシア航空との3回目の裁判があり、11月25日には雇用者ではないと責任逃れをしているユナイテッド航空を提訴しました。

同日、記者会見も行い複数の新聞社からも質問をいただき毎日新聞のインターネット記事と翌日の夕刊に掲載されました。

12月10日には今年最後の成田空港での抗議行動を行い、師走の忙しい時期にもかかわらずたくさんの方々がご支援に駆けつけてくださいました。組合差別による不当解雇が撤回されるまで絶対に諦めません。

解雇撤回求めてストライキ決行中!

東京東部労組マルゴー支部

上野・アメ横ガード下でモデルガンなどを販売しているミリタリーショップ「マルゴー」の労働者です。



今回の解雇は労働組合つぶしを目的とした不当労働行為であるため、東京都労働委員会に救済申立を行いました。また、マルゴー卸事業部(社長の自宅)への抗議

今回の解雇は労働組合つぶしを目的とした不当労働行為であるため、東京都労働委員会に救済申立を行いました。また、マルゴー卸事業部(社長の自宅)への抗議



新年も解雇撤回まで当該一同団結して頑張りますのでご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

要請行動を行った。部屋の照明はついていないのにだれも出ない卑怯な対応だった。解雇理由として経営悪化をあげているが、社長の豪邸を目の前にして組合員の怒りは高まった。

他方、組合員が職場を自主管理してから、地域の労働組合がカンパや差し入れを持って続々と支援に駆けつけてくれています。東部労組マルゴー支部は不当解雇を撤回させ、営業再開をめざす方針です。引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。

芦屋学園の労組共闘で、大八木理事長を解任

芦屋学園教員・職員組合

&ゼネラルユニオン芦屋学園支部

芦屋大と中高などの芦屋学園は、元ラガーでタレントの大八木を理事長として招聘した。しかし、不正経理や公私混同が始まり法人資産が流出し始めた。大八木が秘密裏に、規定額に加えて年600万円も年俸アップをしていたことも発覚。大八木は、それを内部告発した教頭らを脅迫・退職に追い込むなどの弾圧を拡大。組合ツプシの労務屋・一連

合兵庫」の元議長を雇用し、団交に登場させ紛糾した。これに抗して、かねてから外国人講師が活動していたゼネラルユニオン支部とスクラムを組み、全国一般全国協加盟での共闘となった。組合員たちは、学園の評議委員会に詰め寄り、10月25日の委員会を公開とし、数十名の組合員が取り巻く中、理事会の罪状が公表され、大八木の理事長解任が

決定した。共謀していた法人事務局長や大八木の愛人も退職、元連合議長も団交から追放された。

11月30日、新理事長の出席した団交で、「大八木の責任追及・悪徳理事と労務屋の完全追放・不当な処分や配転撤回・組合活動権利確認」などを、労組から指摘した。新理事長は、真相究明と現状回復に同意し、全国一般全国協【教職組とゼネラルユニオン】に今後の協力をよびかけ、遂にフツの学園運営と労使関係を勝ち取ることとなった。

ユニオン北九州は、今年の岩国行動に初めて参加する組合員も含め、17名が参加しました。参加した組合員からの感想です。

の海はバケツ一杯すら埋め立てられていない。負けているように見えるがじつは勝っている。これから先がどんな状況になっても持てる力とアイデアを尽くし

岩国行動2016に参加して

2016岩国行動で、皆さんが訴えていたことは「闘いをあきらめない」という一点に尽きると思います。沖縄で辺野古新基地建設阻止を闘うカヌー隊のかたの言葉が印象に残りました。「一つ一つの闘いは負けている。だが今も辺野古

て闘いを、抵抗を続ける。私たち労働者・市民の闘いはそいつ闘いでなければ、いざという時に多くの人ががさらに闘いに立ち上がることができなくなっ

しまつと思います。かつて日本の労働者・農民は貧しさゆえに、アジア侵略の尖兵となった道をたどりました。私たちの生きる希望が軍隊や戦争であってはいけません。岩国をはじめ各地で闘う人々との連帯の気持ちを忘れず、さらに地域での反戦・反基地の闘いに参加していこうと思います。あきらめないぞ!

(北九州地域支部・竹下尚助)